

自選二十句（2023.1-2024.6）

新井婦紗子

初日の出幕張のビル茜色
寝正月足ぶみしてるページかな
春暁の二度寝にさそう魔界あり
春めくや時折はしやぐ猫のいて
春めくや吾も草花も立ちあがり
杉の花目潰しの術かけきたる
やまびこのさ迷う峡や山笑ふ
地の力引き出す春の雨しきり
春行くや里山膨る上総みち

色分けの園児の帽子チューリップ
市の花の今が盛りよ風薫る
風薫る秒針のなき花時計
山容に濃淡あふれ夏兆す
一部屋は納戸となりぬ更衣
彩りや雨を喜ぶ七変化
ひまわりや量感のある咲きつぷり
列島は水のまほろば滝の音
高原の池塘に浮かぶ翹雲
暮れやすし一駅ごとの日暮れかな
同期会なまり楽しむ夜長かな